

◆年末年始 恒例祭のご案内

○大祓式 歳晩祭

十二月三十一日 ㊄

半年に一度個々の罪穢れを形代で祓うと共に一年の御加護に感謝を捧げます。 ※神社よりお配りした形代(大形)にて各自お祓いをし、清々しく新年をお迎え下さい。

○元旦祭 家内安全特別合同大祈願祭

併せて、初日を拜む会

一月一日 午前六時半〜

新年を言祝ぎ、皇室の弥栄と国家の繁栄、そして氏子崇敬者の平安と幸福を祈念致します。

※ごなたでも参列出来ますので、希望者は十五分前までお越し下さい

○暁まいり

一月十五日 ㊄ 午前零時〜

小正月。日本各地にて厄落としの行事が行われており、当社にては、古よりこの日に厄祓を行っております。

○どんど祭

一月十五日 ㊄ 午前六時〜八時半

古いお神札などを清浄な火でお焚き上げし、御神火に無病息災を祈ります。

◆御祈禱のご案内

○新年家族並個人及団体祈禱

一月一日 午前零時〜午後四時

※随時御奉仕しておりますが、お受け出来ない時間もありますので事前にご連絡下さい

二日以後は通常通り予約制にて午前九時〜午後四時頃まで 毎日御祈禱を行います

家内安全祈願 厄除祈願、

商売繁盛祈願 合格祈願 等

○年末年始 神棚祭 氏神祭 家祓等

要予約

平成十九年厄年表

お早めにお祓いをお受け下さい

※上・生まれ年/下・数え年

	前厄	本厄	後厄
男性	昭59年 24歳	昭58年 25歳	昭57年 26歳
	昭42年 41歳	昭41年 42歳	昭40年 43歳
	昭23年 60歳	昭22年 61歳	昭21年 62歳
女性	平2年 18歳	平元年 19歳	昭63年 20歳
	昭51年 32歳	昭50年 33歳	昭49年 34歳
	昭47年 36歳	昭46年 37歳	昭45年 38歳

一月の行事 予定

○三日 節分祭

福豆をお配り致しますので各戸で元氣よく豆まきをして下さい

○十一日 紀元節 奉祝県民大会

神社では日本の建国を奉祝し建国祭を執り行い、その後市内中心部で行われる祝賀式典に参加します。

○十七日頃 祈年祭

収穫を祈る大祭で新嘗祭とともに全国の神社で行われる重儀

例大祭のお知らせ

平成十九年の例大祭は四月十四日(土)・十五日(日)を予定しております。

編集後記

今回第三号を発刊することが出来ました。皆さんに神社について理解を深めて頂くべく始めた社報も発刊から一年が経ちました。あたたかいお励ましなどをいただき本当に感謝しております。これからもご意見やご要望をお聞かせ頂けたら幸いです。今後共よろしくお願い申し上げます。

ホームページ <http://www.tsunobunuma.org>

坪沼八幡神社社報

奉祝 悠仁親王殿下御誕生



◆ 神の恵みと祖先の恩とに感謝しましょう

◆ 初詣は先ず氏神さまへ

◆ 月に一度は神社をお参りしましょう

ご挨拶

今年も早いもので残りわずかを数えるばかりとなりました。今年に残念ながら、いじめや不祥事など嘆かわしい事件が多数あり、人々の心の荒廃を痛感させられた年でした。その元凶とも思われる戦後教育について昨今ようやくの見直しが叫ばれておりますが、今こそ国民がひとつになって、美しい日本の国柄を思い返しつつ、誇りある新しい国造りに真剣に取り組まなければならないのではないのでしょうか。

そういった年にあって、悠仁親王殿下のご誕生はまさに神のなせる業、誠に喜ばしい限りでございます。新しい時代の予感を感じられる年でもありました。明年は十二支最後の亥年、新たな時代へ仕上げの年ともなりますので、それぞれのお立場で健全な社会の建設に向けてさらにご努力戴ければ幸いです。神社におきましても、御神威の発揚を

お知らせ

①当社の鎮守の森が、平成十九年版日本の米カレンダーにおいて美しい日本の原風景の一つとして選ばれました。

②氏子産子台帳の訂正変更はお忘れなく!

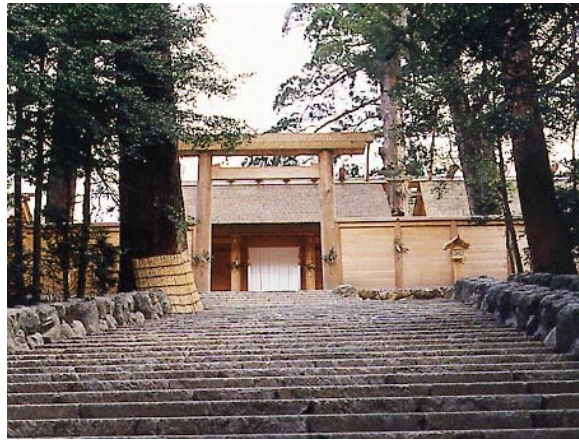
新嘗祭斎行

今年十一月二十六日に恒例の新嘗祭が総代・若長らが参列し厳粛に斎行された。新嘗祭は皇居をはじめ全国の神社で大祭として執り行われる最も重要なお祭で収穫を喜び御神徳に感謝する祭儀であり、当社においても、奉納になった収穫物をご神前にお供えし、感謝の誠を捧げた。

**お正月さまと伊勢神宮**

お正月様とは、伊勢神宮と氏神社のお神札、四柱の御神像と釜神のお神札の総称で、お正月の前に、新年も大神様のあらたなるご加護を戴くため、新しいお神札にお取り替えし、新年の神を迎えるのが古来からの慣わしです。

伊勢の神宮は伊勢参りで最も日本人に親しまれる神様で、**内宮**に天照皇大神宮、**外宮**に豊受大神宮が別々に祀られております。



皇大神宮 (内宮)

天照大御神は太陽のようにあらゆる生命や力の源を司る神であり、また皇室の御祖神で日本の総氏神でもあります。大御璽は神宮大麻といい各氏神さまを通じて全国の家庭に遍く頒布され、神棚の中心にまつられます。

二千年前に伊勢の五十鈴川の川上に鎮座され、千三百年前よりは二十一年に一度全てをお建て替えする式年遷宮が行われております。次の六十二回目は平成二十五年の予定です。

豊受大御神は天照大御神の食事を司る御饌津神であり、またお米をはじめ衣食住の恵みを与える産業の守護神であります。当社においては、今年も頒布始祭を斎行した後、年末にかけ氏子各家を訪問し、神宮大麻をはじめお正月のお神札を頒布します。尚、年末年始は社頭でも頒布しております。又、氏子以外の崇敬者、若しくはご親族など産子の方で、郵送御希望の方がおられましたら、ご連絡下されば神社より直接お送り致します。

**平成十九年お木曳き参加者募集中**  
米カレンダーの一月の風景が、伊勢神宮の宇治橋です。

**再度のお知らせ真神について**

神社と氏子崇敬者を結ぶ神として、本年境内に御奉納頂きました四十五本のお神も順調に生育し、ようやくご家庭の神棚用の神として剪定頂いてもよろしいような大きさになりました。神は切った方が良い葉が付きましますので、月に一度は月参り少々お持ち下さい。この神は神棚用として一ヶ月は十分保ちます。

尚、神の御奉納は随時承っております。**悠仁親王殿下御誕生を祝う宮城県民大会** 奉祝式典・お祝いイベント

一 番町パレードなど) 日本国民が待ちに待った御皇室の御慶事、秋篠の宮家に新宮様が御誕生になられたことを県民挙ってお祝いすべく、去る十一月二十五日仙台の中心部において雲一つ無い晴天の中盛大に奉祝行事が開催された。当神社よりも総代・敬神婦人講役員が参列した。悠仁親王殿下のお健やかな御成長をお祈り申し上げますとともに、当神社におきましても、今年から明るく年にかけて、御誕生を記念する事業を計画致しますので何卒ご協力願います。

**御奉替御芳名** 手水舎奉納 山田義正殿

**敬婦だより**

十二月十七日、坪沼敬神婦人講の皆さんによる清掃奉仕が行われた。当日は小雨が時折降るあいにくの天気の中ではあったが、菅野としい会長はじめ多くのご婦人方が参加し行われ、拝殿をはじめ境内のすみずみまで綺麗にして戴きました。今年の煤払いも無事終わり、清々しく新年を迎える準備が整いました。年末忙しい中ご参加頂いた婦人講の皆様  
に感謝申し上げます。



ご参加いただいた婦人講の皆さん

**新役員・総代就任 敬称略**

○責任役員・氏子会会長・総代長 山田義正 新

同・氏子会副会長・副総代長・板橋総代 小池忠一 新

氏子会副会長・副総代長・中沖東総代 菅野英明 新

○総代 針山 佐藤善昭

中沖南 菅野雅美

根添 佐藤清之丞

北区上 山田義信・新

北区下 菅原利巳・新

○監事 佐藤甚太郎・佐藤敬司・新

○会計 佐藤善雄、同補佐 佐藤義治 新

**氏子会会長就任にあたり**

山田 義正

氏子の皆様には日頃より神社のことにつきまして、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

菅野政司前会長の御退任を受け、凶らずも総代会において推挙され、この度会長に就任致しました。

浅学非才の身、長い歴史と伝統ある坪沼八幡神社の重責を担うことは誠に恐れ多

いことではあります。御奉仕出来ることとがあればとお受けした次第です。さて、坪沼には素晴らしいところがたくさんあって、昨今各方面から非常に注目され、少しずつですが活気を取り戻してきており、特に若い方を中心に様々な活動がなされ、まだまだではありますがこれからが楽しみなところ。ただ、今の坪沼があるのも、この美しい故郷を先祖や先輩たちが大切に守り受け継いできたお陰であり、その共同体の中心として、神社が大きな役割を果たしてきたことは言うまでもありません。やはり今も昔と変わらず、神さまを信仰し敬うことは普遍のもので、健康で明るい生活を送るものであり、又神社をはじめ坪沼の伝統文化を守っていく事こそが、本当の地域の発展に繋がるものなのです。八幡さまが、末永く氏子崇敬者の心の拠り所として、子々孫々まで御加護下さるよう、今後は前会長のご功績を継承し、宮司さん達と共に、微力ながら神社の護持発展に努力致す所存でございますので、何卒二層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶と致します。